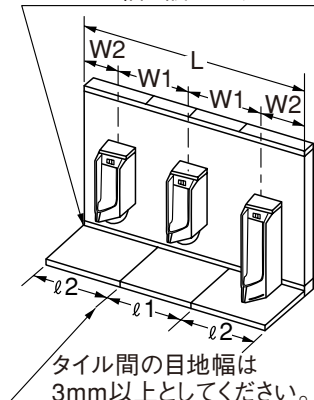


小便器床防汚陶板 ハイドロセラ・フロアPU（薄型）

事前施工情報

- 小便器の間隔をご確認いただき、便器下部に目地がこないように割り付けしてください。
- 目地幅は3mm以上としてください。
- 排水管の穴や切断加工は、製作指示書で注文してください。（加工費別途）また、設置便器の種類によらず、便器の形状に合わせた切断（くり抜き、切り欠き）加工はできません。
- 現場での切断は、磁器タイル用ダイヤモンドホイールをディスクグラインダーもしくは丸のこに装着して行ってください。
- 小穴加工する場合は、磁器タイル用ドリル刃をご使用ください。下穴加工は、振動などに注意し、ビス径より大きな穴をあけてください。
- フランジは、フロアPU（薄型）に直接留めつけることができません。必ずビス径より大きな下穴をフロアPU（薄型）にあけ、ビスが干渉しないようにします。ビスは材厚5mmを考慮し、長めのものを準備してください。
- 排水管は、フロアPU（薄型）表面まで立ち上げてください。

壁とタイルの間に5mm程度のシーリング幅を設けてください。

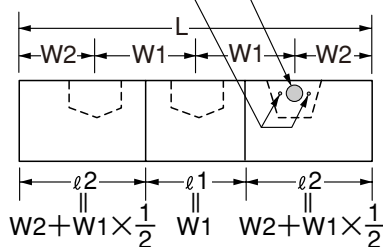


【金具固定用穴】

配管の立ち上がり位置、金具の種類にあわせて、現場にて加工ください。

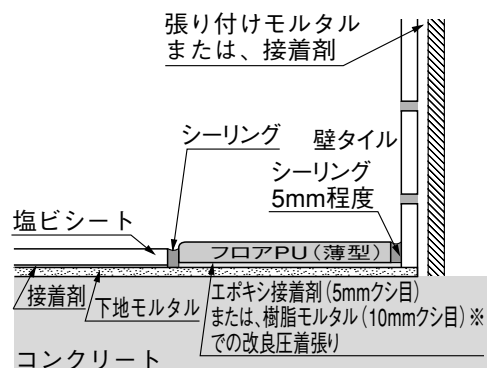
【排水管用穴】

工場にて加工します。（加工費別途）



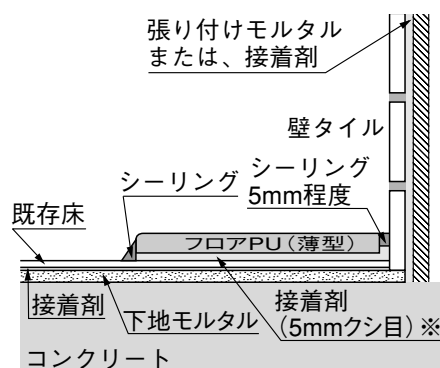
施工方法	下地の処理	張り付け材
接着剤工法	モルタル仕上げ (面精度 2mm/2m以下) セルフレベリングモルタルも使用できます	JIS A タイル張り用 接着剤のタイプ I 相 当の 2 液エポキシ接 着剤 (5mmクシ目)
モルタル改良圧着張り工法	モルタル仕上げ (面精度 2mm/2m以下) セルフレベリングモルタルも使用できます	片面：樹脂モルタル (10mmクシ目) 片面：樹脂モルタル (1mm厚付け)

●塩ビシートとの張り合わせの場合



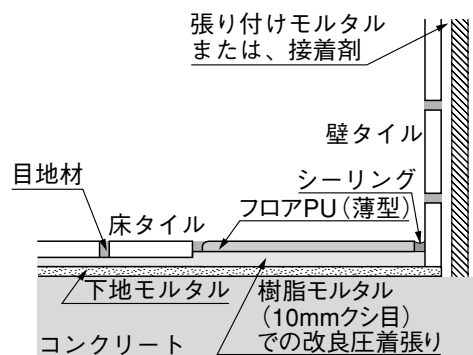
※樹脂モルタルで施工する場合は高さ調整の為、フロアPU端部に4mm厚のスペーサー（現場手配）を使用してください。

●既存床（シート材、タイル、石材）へのうわばり



※シート材に施工する場合は、材質に対応した接着剤を使用してください。接着剤は必ず端部まで充填させて下さい。

●タイルとの面一施工



※床タイルとの高さ調整で樹脂モルタルの厚さを増す場合は、応じた厚さのスペーサーを使用してください。